

後記

句集「ねずみのこまくら」は私の第一句集である。顧みて、饒舌また冗漫な句ばかりが頭を並べている。自業自得。
なれば、仕方がない。

句作に当っては、極力、自己の性情に忠実でありたいと願って来た。

すなわち、己が気持のおもむく処、言葉を矯めず、にのびのびと申し述べてみたいと。

集名を『ねずみのこまくら』としたのも、その言わずもがなの処をよく弁えている「ねずみもちの実」に、我が意図するところを代弁して貰いたかったからである。

句集上木に当り鉄之介先生からは直截簡明なる御序文を、親炙する下田稔氏よりは意を尽した跋文を頂戴した。唯々、深謝する矣。

又、風神社の富田直治氏には、編集万端一切合財お世話になった。厚く御礼申し上げたい。

平成二年四月

知命を三月後に控えて

高沢良一